

研究者情報

フリガナ 氏名	ヤマシタ コウセイ 山下 航正	職名/学位	准教授 / 博士(文学)・教育学 修士
所属 学科	一般教科	所属学会	日本文学協会, 日本近代文学会 (含、同会九州支部), 全国大学国語教育学会、 広島大学国語教育学会, 広島大学国語国文学会、 広島大学近代文学研究会
専門 分野	・日本近現代文学 ・文学教育	利用可能な 設備等	特になし

研究テーマ

- ・文学教育(〈語り〉を軸とした〈読み〉の授業)
- ・夏目漱石研究
- ・高濱虚子研究
- ・村上春樹研究

〈読み〉の研究(文学の授業はどうあるべきか)

○文学教育(〈語り〉を軸とした〈読み〉の授業の在り方について)

田中実氏の第三項論を元に、語られる対象人物と語る視点人物との相関関係から〈機能としての語り〉を浮上させる〈読み〉を通して、作品の力・文学の力が発揮される授業を目指します。その結果、読者は自身の認識の仕方そのものを問うことになり、〈世界像の転換〉がなされます。ここに、文学教育の根拠があり、そのための文学研究と文学教育の相互乗り入れが要請されています。

○夏目漱石研究

「写生文」の観点から漱石文学の変遷とその実相を見ることで、国民的作家である漱石文学の特質を明らかにします。

○高濱虚子研究

虚子小説の歴史的変遷と「写生文」観の変容から、俳人として名高い虚子の小説家としての側面を浮上させ、虚子文学の新たな魅力を提示します。

本研究の成果・適用分野・アピールポイント

○文学教育(〈語り〉を軸とした〈読み〉の授業の在り方について)

- ・作品の力・文学の力を生かした〈読み〉の授業
- ・読者が作品に撃たれ、自己の〈世界観認識〉を問い直すことができる授業

○夏目漱石研究

- ・その底流にある「写生文」の析出による、漱石文学の変遷の実相と必然の提示

○高濱虚子研究

- ・小説家としての虚子像、また虚子小説の魅力の提示

提供可能な連携

技術相談	共同研究	受託研究	施設利用	機器利用
可	可	可	可	可